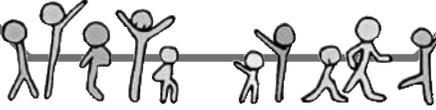


## 一週間で感じられた カナダの食文化

経営学部 2年 林 由真



昨年、カナダの冬のピークである2月、私は初めて単身での海外旅行にトロントに行きました。予てより欧米文化に興味のあった私は、様々なことを感じることができました。その中でも、食についてはとても多くのカルチャーショックがありました。

まず初めに、私が紹介したい食のカルチャーショックは、ラーメンです。日本のラーメンは海外でもやはり評判らしくお店がちらほらと立っていました。私は2つの店舗で日本のラーメンをうたう料理を食べましたが、ひとつはとても美味しくもう一つはとても口に合いませんでした。見た目は、普通のラーメンでしたが味がとても日本のラーメンと言えるものではありませんでした。また、アタリの方のラーメン屋は、ラーメンバーというコンセプトのお店で店内に数多くの酒瓶が並べられていました。一見、ラーメン屋さんには見えず若者が好むおしゃれな居酒屋というように見受けられました。味は、しっかり美味しい豚骨でした。次に、ハンバーガーショップです。日本でも人気のマクドナルドも、日本とは違う点を有していました。中で

も一番印象的であったのが、ドリンクのシステムです。普通に日本でのようにドリンクを注文するとコップを渡され、その後はドリンクバー状態でした。さすが欧米、と感じました。また、日本でハンバーガーといえばファストフードという認識が第一だと思いますが、カナダの観光名所CNtowerの近くで私が入ったお店は、ハンバーガーレストランといった感じでした。店内



はとても広く、インテリアは高そうなものが沢山。文庫本くらいの厚さのチーズがパーティに挟まれており、時々ウエイターがお飲物は足りていますかと、訊きにきてくださるという調子でした。他にも、チップを請求してくるクレジット決済端末機や、慣れない日本語で“いらっしゃいませ”と出迎えてくれる日本食レストランなど面白いことが沢山ありました。

全てが新鮮で、とても面白い一週間でした。日本にはない食文化の良さがたくさん存在していました。また、日本食の素晴らしさを再認識できる良い機会でした。次は、また他の国に行き、今回とは違うカルチャーショックを受けたいです。

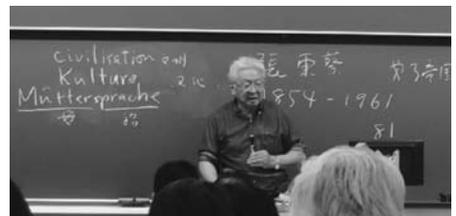
## 語学教育研究室主催 第6回公開講演会が開催されました

2018年10月20日（土）

14：00～16：00 名古屋校舎 L804 教室

講師：田中克彦先生（一橋大学名誉教授）

「言語の特質は、その言語共同体の文化や政治に  
どのように反映されるか」



語学教育研究室では毎年秋学期に講師の先生をお招きして、一般の方々や学生の皆さんに向けた公開講演会を行っております。

来年度も開催予定ですので、ぜひ一度足を運んでみてください！